

## 第125回:ちょっと変だよ、「康師傅」

中国株に強い東洋証券ウェブサイトにも中国コラムを連載している手前、ばかの一つ覚えのように薄熙来が滑って転んで大分県では会社に申し訳ないと思ひ、営業に役立つホットな中国株情報を披露すべく日々研鑽に努めているのだが、毎度毎度苦勞するのが銘柄の呼称である。日本と中国は漢字という財産を共有しており、吾々日本人は大半の中国株銘柄を読んで理解できる。これは真に便利なことで中国農業銀行(01288)は、わざわざ Agricultural Bank of China と表現するまでもない。

しかし中国銘柄の呼び方は案外面倒でもある。香港に上場している中国企業の大半が英語と中国語の企業名を有しており、加えて業界には業界の略称が存在する。例えば時価総額で世界トップ5の常連である石油メジャーの**中国石油**(00857)。正式名は**中国石油天然気股份有限公司**、英文名は PetroChina Company Limited だが、これを「チョングオ～・シーヨウ・ティエンランチ～・ゲーフェン・ヨウシエン・コンス～」と中国語で唱えると舌を噛み切り、救急車がすっ飛んでくる懼れがあるので、証券業界では「中国石油」とか「ペトロチャイナ」と呼んでいる。同社のライバルである China Petroleum & Chemical Corp.=**中国石油化工**(00386)も同様に「中石化」、「Sinopec」と呼ばれており、当社は「シノペック」と呼ぶが、「サイノペック」と呼ぶ会社もある。ことほどさように中国銘柄の日本語読みは何通りもあって面倒だ。いっそ漢字読みは止めて、英文呼称に統一した方が便利ではないかと考えることもある。

いちばん困るのが日本語にない漢字を使っている銘柄だ。日本人が**濰柴動力**(02338)や**新疆新鑫礦業**(03833)を音読みするのは不可能で、こんなときは英文名の Weichai Power (ウェイチャイ・パワー)に呼称を切り替えれば良いのだが、どうしても漢字を使いたい会社もあるらしく漢字に拘泥するあまり「イ柴動力」とか「新疆新シン鉱業」といったますます複雑怪奇な呼称が誕生してしまうのである。中国語でシンと発音する「鑫」はお金が溜まる縁起の良い漢字のようで、中国のレストランや宝石屋の看板でよく見かける。

むかし日本と中国の距離が遠かった時代にはパソコンやワープロを叩いても鄧小平や深圳といった漢字が出て来ず、やむなく「トウ小平」や「深セン」といった真に見苦しい表記をせざるを得なかった時期があった。しかしながら今の時代になっても「トウ小平」や「深セン」表記を変えない人は旧説墨守の最たるもので、即刻改めるべきだ。豎子嗤ふべしでは済まないのである。

証券アナリストは市場分析や企業調査の専門家だが、漢文の泰斗とは限らないようで、漢字に疎い人が音響部品メーカーの AAC Technologies (AAC テクノロジーズ) のレポートを書くとき社名が「瑞聲科技」になってしまう。同社は英文読みの方がスマートだと思うが、どうしても漢字を使いたければ、せめて**瑞声科技**(02018)とすべき。「声」の旧字体が「聲」だと知らないものだから、奇妙奇天烈、読解不能の表記となるのである。あらくれ・縮図の作者はむかし徳田秋聲、いま徳田秋声である。尚「瑞声」を「喘声」と書くと、あえぎ声になるので乞うご用心。「香港では【聲】を使うから社名は【瑞聲科技】が良い」と強弁する人は、台湾指数を

---

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

臺灣50指数成分股票と書いてごらん。因みに通信大手の China Unicom(チャイナ・ユニコム)は**中国聯通**(00762)と表記するが、「連」の旧体字「聯」は、いまもむかしも日本でも通用可能な漢字だから、「中国連通」に変える必要はない。筆者も連・聯の字は状況に応じて連絡先、聯隊長のように使い分ける。

銘柄によっては、**中国工商銀行**(01398)、**中国平安保険**(02318)、**中国銀行**(03988)、**中国海洋石油**(00883)のように英語表記にしなくても読める銘柄も多いが、**恒基兆業地産**(00012)や**佐丹奴国際**(00709)は無理だ。ここは素直に Henderson Land(ヘンダーソン・ランド)、Giordano(ジオルダーノ)と読むべきである。**思捷環球控股**(00330)も同様で、これを強引に日本語読みすれば「ししょう・かんきゅう・こうこう」となるが、証券マンはお客様への電話勧誘で社名を何と説明する？ 思考の「思」、戦捷の「捷」、環状線の「環」、野球の「球」、控えの「控」、「股」はえ〜っと、股引もとい、股ぐらの「股」でございますとでも言うのだろうか。因みに同社は中国の若者に人気のアパレル大手で、中国人や香港・台湾人がエスプリと聞けば、すぐ赤地に白の ESPRIT のロゴマークが思い浮かぶと云う。現地の証券会社も当然「エスプリ」と呼んでいる。

業界最大級の規模を誇る**東風汽車集団**(00489)は、日産や本田、PSAプジョーシトロエンとのパートナーシップが示す通り、主たる製品は自動車であり、**中国南車**(01766)のように機関車や高速鉄道車両を作っているわけではないが、中国で「手紙」がトイレトペーパーを指すように、日本語の自動車を中国では「汽車」と表記し、日本語の汽車は「火車」と呼ぶ関係で、東風汽車と名乗りながら、実際に作っているのは自動車である。因みに同社の英文名称は Dongfeng Motor Group である。

世界最大のカップ麺メーカーのカンシーフはケイマン諸島に設立登記された実質台湾企業で、主戦場は人口 13 億人の中国本土である。英文名は Tingyi(Cayman Islands) Holding Corp. であるが、このカップ麺を食べたことがあり、カップに描かれた板前のマスター・カンを知っている人は**康師傅**(00322)と呼ぶはずだ。問題は「傳(ふ)」という字が、日本人には馴染みが薄く、傳育の「傳」でピンと来る人は少ない。検索エンジンでチェックすると、康師傅を「康師傳」と書き間違えた情報がいっぱい登場し、思わず笑ってしまう。「傳」は「伝」の旧字体で、デンと読み、大河内傳次郎の「傳」、四谷の角打ち「鈴傳」の「傳」であると云っても誰も相手にしてくれないだろうから、ここまでにして鈴傳にでも出かけることにしよう。(了)

文中の見解は全て筆者の個人的意見である。

平成24年6月25日

## 筆者プロフィール

杉野光男

東洋証券株式会社 主席エコノミスト

一橋大学商学部卒、三菱信託銀行(現三菱 UFJ 信託銀行)入社、上海華東師範大学へ留学

同行北京駐在員、上海駐在員事務所長、理事中国担当部長を経て、2007年より現職

著書 日本の常識は中国の非常識(時事通信社)、中国ビジネス笑劇場(光文社)等

---

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

2/3



東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 121 号

日本証券業協会 加入

本社所在地 〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1 TEL03-5117-1040

## ご投資にあたっての注意事項

### 手数料等およびリスクについて

#### ①株式の手数料等およびリスクについて

- 国内株式の売買取引には、約定代金に対して最大1.2075%(税込み)(約定代金が260,869円以下の場合、3,150円(税込み))の手数料をいただきます。国内株式を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。

国内株式は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。

- 外国株式等の売買取引には、売買金額(現地における約定代金に現地委託手数料と税金等を買いの場合には加え、売りの場合には差し引いた額)に対して最大0.8400%(税込み)の国内取次ぎ手数料をいただきます。外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

外国株式は、株価の変動および為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

#### ②債券の手数料等およびリスクについて

- 非上場債券を募集・売出し等により取得いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。

債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、元本の損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動等により価格が上下するほか、カントリーリスク及び為替相場の変動等により元本の損失が生じるおそれがあります。また、倒産等、発行会社の財務状態の悪化により元本の損失を生じるおそれがあります。

#### ③投資信託の手数料等およびリスクについて

- 投資信託のお取引にあたっては、申込(一部の投資信託は換金)手数料をいただきます。投資信託の保有期間中に間接的に信託報酬をご負担いただきます。また、換金時に信託財産留保金を直接ご負担いただく場合があります。

投資信託は、個別の投資信託ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なるため、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とするため、当該金融商品市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価格が変動し、元本の損失が生じるおそれがあります。

#### ④株価指数先物・株価指数オプション取引の手数料等およびリスクについて

- 株価指数先物取引には、約定代金に対し最大0.0840%(税込み)の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。
- 株価指数オプション取引には、約定代金、または権利行使で発生する金額に対し最大4.20%(税込み)(約定代金が2,625円に満たない場合は、2,625円(税込み))の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。

株価指数先物・株価指数オプション取引は、対象とする株価指数の変動により、委託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

### ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をよくお読みください。

---

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。